

## 令和2年度「慢性の痛み解明研究事業」における事後評価について

令和3年8月

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
疾患基礎研究事業部 疾患基礎研究課

事後評価は、各課題の研究開発の実施状況、研究開発成果等を明らかにし、今後の研究開発成果等の展開及び事業等の運営の改善に資することを目的として実施します。慢性の痛み解明研究事業では、本事業における事後評価の評価項目に沿って、課題評価委員会において、書面・ヒアリングによる事後評価を実施しました。

### ●総評

本研究事業では、原因が明らかでなく対応に苦慮する痛みや、適切な対応を行っているにもかかわらず残存する痛みを対象に、画期的治療法を開発する上での客観的指標に基づく介入群の設定あるいは治療法に資するシーズを発見することを目標としています。

評価委員会では、令和2年度で終了した2課題を対象としました。どちらの課題も計画通りに進捗が良好であったとの評価を得ました。

「脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索」は、モデル動物実験によって分子レベルで脊髄損傷後神経傷害性疼痛の病態機構を解明したことが評価されました。

「選択的神経ブロックによる個別化リハビリテーションと治療効果の定量化を重視した凍結肩の集学的診療ガイドラインの開発」は、凍結肩に対する超音波ガイド下肩関節神経ブロック治療法および超音波エラストグラフィによる効能評価の有用性を示したことが評価されました。

●対象 2 課題

脊髄損傷後疼痛の病態解明と治療法の開発に関する研究			
研究開発課題名	研究開発	所属機関	役職
	代表者名		
脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索	貴島 晴彦	大阪大学	教授
肩関節周囲炎の病態に応じた治療法の有効性評価に関する研究			
研究開発課題名	研究開発	所属機関	役職
	代表者名		
選択的神経ブロックによる個別化リハビリテーションと治療効果の定量化を重視した凍結肩の集学的診療ガイドラインの開発	山内 正憲	東北大学	教授

●評価のスケジュール

書面審査実施期間	令和3年7月9日(金)～令和3年7月27日(火)
面接（ヒアリング審査）審査	令和3年8月7日（土）

●課題評価委員 名簿

	氏名	所属・職名
評価委員	今村 佳樹	日本大学 歯学部 教授
評価委員	上野 雄文	国立病院機構 肥前精神医療センター 臨床研究部長
○副委員長	大野 裕	認知行動療法研修開発センター 理事長
評価委員	小幡 英章	埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 教授
評価委員	河野 達郎	国際医療福祉大学 麻酔科 教授
評価委員	中島 八十一	長野保健医療大学 保健科学部 教授
評価委員	比嘉 和夫	医療法人福西会 福西会南病院 院長
評価委員	細井 昌子	九州大学病院 心療内科/集学的痛みセンター 講師（診療准教授）・副センター長
評価委員	松原 貴子	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 理学療法学 科 教授 ／大学院総合リハビリテーション学研究科長
◎委員長	宮坂 信之	東京医科歯科大学 名誉教授
評価委員	山岸 暁美	慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学教室 講師

PS・PO 名簿

	氏名	所属・職名
PS	眞下 節	大阪大学 名誉教授／市立豊中病院 顧問
PO	天谷 文昌	京都府立医科大学 医学部医学科疼痛・緩和医療学教室 教授
PO	牛田 享宏	愛知医科大学 医学部 学際的痛みセンター 教授
PO	中江 文	大阪大学 大学院生命機能研究科 特任教授

●評価項目

- ①研究開発達成状況
- ②研究開発成果
- ③実施体制
- ④今後の見通し
- ⑤事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目
- ⑥総合評価

以上